

タイピングを確実に習得するために…

- 手元を見ないで正しく入力する練習ですので、**キーボードにカバー等**をして、手元が見えないような工夫をしてください。



- **ホームポジション**を理解し、打ち終わった指は必ずホームポジションに戻ることを意識してください。「打ったら戻る、打ったら戻る」の声掛けをしていただくとより効果的です。

ホームポジションとは、左手の人差し指はFの上に、中指はDに、薬指はSに、小指はAの上に置き、同様に右手も人差し指はJ、中指はK、薬指はL、小指は+の上に置いた状態です。



- **A (80点以上)** を**3回連続** 出してから次のステップへ進んでください。
- **S (90点以上)** は**1回** で次へ進めます。
- ステップ⑨ (Shiftキーのトレーニング) は大文字、小文字の打ち分けの練習です。ここからは、通常の打ち込みが小文字で表示されます。大文字の打ち込みは、**反対の手の小指でシフトキーを押し**、押ししている間に文字を打ち込みます。
- 毎回練習にあたっては復習をします。ステップ①～ステップ⑧までは、①からクリアしているステップまで、**Aを1回出してから**、次の練習のステップへ進んでください。⑨をクリアしてからは、同じように⑨から復習を行ってください。
- クリアしているステップでも、**時々戻って練習**すると効果的です。

英語コースを確実に習得するために…

- **タイピングを完全習得**（キーボードを見ないで間違わずに文字を入力できる）した後に英語コースに進んでください。
- 必ず**イヤホンを着用**してください。演習する全ての英単語、英文章は音声付きです。演習と同時に発音だけでなく、アクセント、イントネーションなども聞くことができ学習効果を高めます。
- 本学習ソフトは学習補助的教材です。各学習塾、また先生方のカリキュラムに沿って活用してください。
- 文法項目では、本ソフトの演習に取り掛かる前に、若干の**講義と実例の説明**をしていただくと理解度、定着度の高い効果が得られます。
- **学年、項目を問わず**どこからでも始められます。（英単語および熟語は順番通りに進めて下さい。）
- 定着度を高めるために、学年単位で**2巡、3巡**することをお勧めします。2巡、3巡目は1巡目に比べ短時間でより高い定着度の学習ができます。



- ☹️ は単語や文章が**正しく記憶されていない**ことを意味します。☹️が出たら速やかに消去する努力をしてください。マークが出ているうちに間違えるとさらに演習量が増えるシステムになっています。できるだけ☹️を作らないことがポイントです。

☹️（泣き虫マーク）とは？

学習を進めると手に入るツール（便利機能）のうち、序盤で手に入る**「おそうじキット」**には、その生徒が不正解した苦手な問題を☹️マークで知らせてくれる機能があります。この機能は生徒自身によるオンオフの切り替えが可能ですが、原則としてオンにしたまま学習を進めてください。



泣き虫マーク

